

## 令和3年度第2回紋別市総合教育会議録

- 1 日 時 令和3年5月13日（木）午後3時00分～午後3時41分
- 2 場 所 紋別市役所 市長応接室
- 3 出席者
- |                  |       |
|------------------|-------|
| 紋別市長             | 宮川良一  |
| 紋別市教育委員会教育長      | 堀籠康行  |
| 紋別市教育委員会教育長職務代理者 | 小林正男  |
| 紋別市教育委員会委員       | 上林善證  |
| 紋別市教育委員会委員       | 渡邊孝博  |
| 紋別市教育委員会委員       | 古屋真由美 |
- 4 構成員以外の出席者
- |           |      |
|-----------|------|
| 総務部企画調整課長 | 竹本幸孝 |
|-----------|------|
- 5 事務局関係
- |               |      |
|---------------|------|
| 教育部長          | 佐藤健吾 |
| 学務課長          | 仲条憲明 |
| 学務課参事（高校支援担当） | 茂木洋人 |
| 学務課指導主事       | 綾部雅一 |
| 生涯学習課長        | 山本晃男 |
| 学務課庶務係長       | 米田 晃 |
- 6 協議内容 (1) 成年年齢の引き下げに伴う対応について

## 令和3年度 第2回紋別市総合教育会議 午後3時00分開会

### ○宮川市長

定刻になりましたので、令和3年度第2回紋別市総合教育会議を開催いたします。進行につきましては、私が務めさせていただきます。

それでは、次第に基づきまして、本日の協議に入らせていただきます。

協議事項（1）成年年齢の引き下げに伴う対応について、事務局から説明をお願いします。

### ○山本生涯学習課長

それでは、令和3年度第2回紋別市総合教育会議、成年年齢の引き下げに伴う対応について説明させていただきます。

民法の一部を改正する法律、成年年齢の関係についてであります。法務省より、平成30年6月、民法の成年年齢を20歳から18歳に引き下げることなどの法律が成立しました。

民法の定める成年年齢は、単独で契約を締結することができる年齢という意味と、親権に服することがなくなる年齢という意味を持つものですが、この年齢は明治29年、民法が制定されて以来、20歳と定められてきました。

成年年齢の見直しは、明治9年の太政官布告以来、約140年ぶりであり、18歳、19歳の若者が自らの判断によって人生を選択することができる環境を整備するとともに、その積極的な社会参加を促し、社会を活力あるものにする意義を有するものと考えられます。また、女性の婚姻開始年齢は、18歳とされる男性と異なってございましたが、今回の改定では、18歳に引き上げられ、男女の年齢を統一することとなっております。

次に、成人の日であります。成人の日とは、国民の祝日の一つであります。ハッピーマンデー制度により、1月の第2月曜日があてられておりますが、平成11年までは、1月15日でした。法律によれば、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを趣旨としてございます。1948年に公布施行されてから、1999年までは毎年1月15日としていたのは、この日が小正月であり、かつて元服の義が小正月にて行われていたことによると言われていることとございます。

次に、成人式であります。成人式とは、成人式を行う年度内に満20歳となる人々を、学齢ごとに各地方公共団体が主に1月第2月曜日に激励・祝福する行事であります。

日本における今日の成人式は、1946年11月、埼玉県蕨町において実施された「青年祭」がルーツとなっているのが定説でございます。次世代を担う青年

たちに明るい希望を持たせ、励ますため、国民学校の校庭にテントを張り、青年祭のプログラムとして行われ、この青年祭が全国に広まり、現在の成人式となったとのことです。

次に、当市におきまして、令和2年11月に成人式に関するアンケートの調査を実施してございます。アンケートは、令和3年「成人を祝うつどい」対象者、紋別市教育委員会委員、社会教育委員、市民憲章推進協議会委員、青少年問題協議会委員、青少年健全育成推進委員協議会委員、令和2年「成人を祝うつどい」実行委員、紋別高校を対象としてございます。

次に、アンケートの結果でございますが、調査対象273件のうち、回答が96件ございました。まず、アンケート結果①は、成年年齢の引き下げ後における成人式対象年齢についての問です。「20歳のままで良い」が68、「18歳まで引き下げた方が良い」が15、「19歳まで引き下げた方が良い」が4、となっており、約71%の方が「20歳のままで良い」との回答でありました。

次に、アンケート結果②であります。対象年齢を選んだ理由となります。回答の多い順に、1番多かったのが「受験勉強を優先」、2番目に多かったのが「未成年における飲酒の可能性がある」、3番目としては「異世代と一緒にだと気を遣って楽しめない」、4番目としては「世代が多いと同窓会感覚が希薄となる」などの意見がみられました。

次に、アンケート結果③でございますが、成人式の開催時期についての問です。「現状のままで良い」が68、以下、「5月の連休が良い」、「9月の連休が良い」、その他「18歳から参加するなら変更した方が良い」となっており、ここでも現状のままで良いが71%の意見となっております。

次に、アンケート結果④でございますが、「20歳のままで良い」とした回答のその他の意見となります。「18歳が成人といえるか疑問」、「完全に今まで通りで良い」、「節目と自覚を考えると親の成長の遅い現在において、18歳、19歳より20歳の時が良いのでは」、「成人年齢が引き下げられたが、式典は、20歳を祝うものと定義するのが良いと思う」、「現状のままで良い。引き下げる必要がない」などの意見が多くみられました。

次に、「18歳までの引き下げが良い」とした答えた方のその他の意見となります。「成人年齢が変わったのだから、成人式の対象を変えるのが筋であろうと思う」、「成年となったことの自覚を促すため」などの意見が見られております。

次に、アンケートの結果⑤であります。成人式の開催時期についての自由記載欄でございます。「大学受験に支障が出ないように配慮した方が、参加できる方が増えるのではないか」、「9月なら受験する人も、まだ少し余裕があるのではないか」、「現状のままか、1月の3日から5日の正月の帰省に合わせて行るのが良いのではないか」、「お盆の頃が良いと思います。連休が確定するなら寒い

時期にやらなくても良い」、「19歳の1月に成人式を行った方が良い」などの意見がみられました。

次に、アンケート結果⑥ですが、成人を祝うつどいの名称について、その他の事由記載欄を抜粋してございます。「今のまま『成人を祝うつどい』で良い」が多数の意見でございました。その他、「そもそも開催する必要があるのだろうかとも思います」、「紋別の成人式が、20歳であれば名称を変える必要はない」、「本当なら、今のままで良いという思いが強いが、天候に左右される時期で移動しづらいとの思いもあるので、5月がいいのでは」、「引き下げる必要はないと考えるが、周辺市町村の実施をみながら進めても良いと思う」などの意見がありました。

最後のページになりますが、他の市町村の状況であります。都道府県所在地の47市区の状況では、2020年以降も、都道府県所在地の47市区のうち、8割を超す40市区が成人式の対象年齢を、現状の20歳を維持と決めてございます。残る7件についてはいずれも検討中で、18歳に決めたところは今のところ見当たらない状況です。北海道の主な市町村の状況につきましては、札幌市は、進学に伴う受験や就職を控えた時期と重なり、参加困難となる方が増えると懸念される。18歳ではなく、より多くの青少年をお祝いできる20歳を対象とすることが望ましいと判断。旭川市は、20代は18歳と比較して、社会の規範を深く理解し、より強い自覚を持って社会に貢献できるようになっているなどの理由から、現行通りの20歳ということで決めている案を発表しております。他に、江別市、千歳市、北広島市など、記載している市町村につきましては、対象を20歳と表明しているところでございます。道東の主な市町村の状況です。全て対象年齢を20歳と表明してございます。北見市、網走市、佐呂間町、斜里町、湧別町、帯広市、芽室町などが、対象年齢を20歳と表明しております。

以上、成人式関係の説明を終わらせていただきます。また、学校の教育などにつきましては指導主事より説明いたします。

## ○綾部指導主事

それでは、私の方から学校教育の中で、主権者教育がどのように行われているかという点について、簡単に説明をさせていただきます。

成人年齢の引き下げに伴い、学校教育においては、これまで以上に、主権者として必要な資質能力を、身につけさせていくことが、喫緊の課題となっております。このことから、新学習指導要領では、小中学校段階から体系的に主権者教育を行っていくことが求められています。主権者教育では、大きく三つの資質能力を育成することが目的となっており、一つ目は、国家社会の基本原則となる法や決まりについての理解、政治経済等に関する知識の習得、二つ目は、事実を基に

多面的に考察し公正に判断する力、課題の解決に向けて協働的に追求し、根拠を持って主張するなどして、合意を形成する力。三つ目は、より良い社会の実現を視野に、国家社会の形成に主体的に参画しようとする力となっています。

主権者となるための知識だけではなく、思考力、判断力、表現力、主体性、社会への参画意欲をバランスよく育ていこうとするのが、今、求められている主権者教育ということです。

このような資質能力を育成するため、各教科等において行われている主権者教育ですが、例えば、小学校社会科であれば、公共施設の整備や租税の役割。中学校社会科では、民主政治や選挙など、国民の政治参加との関連。家庭科では、地域の人々との関わりや、持続可能な社会についての知識が扱われています。他にも道徳では、自立や自由と責任、特別活動では他者との協働、合意形成、社会の一員としての自覚。総合的な学習の時間では、問題解決能力、情報活用能力などといった資質能力を育成するよう、教育課程の中に教科横断的に組み込まれています。一方、学校だけでは育成しづらい資質能力が特に三つ目の社会の参画意欲です。これは決して学校だけが悪いわけではありません。学校で得た知識や思考力、判断力など、学校だけで生かすのではなく、主権者として実際の社会でどのように生かすか、何ができるようになるかということです。学校だけではなく、家庭や地域も、主権者教育の場として機能していくことが重要であるということです。こういった部分で学校は家庭との連携はもちろん、こちらのよう、コミュニティ・スクールや地域の人的物的資源を活用した教育活動など、社会との関わりを意識する機会を多く取り入れるようになってきております。また、令和2年に文科省が行った主権者教育推進会議の中では、政治の問題など、社会の諸課題について、子どもたちが多面的・多角的に考察を深めるために、統計や新聞、インターネットの情報など、多様なメディアを活用して情報収集したり、解釈したりする力や、情報の妥当性や信頼性を踏まえて、公正に判断する力などの、メディアリテラシーを育成していくことも重要視されています。この点につきまして、紋別市では、各学校における主体的、対話的で深い学びの実現に向けた、授業改善への支援のほか、学校図書館の充実や、GIGAスクール構想による、1人1台端末の活用。民間業者と連携した、読解力向上プロジェクトやSTEAM教育など、メディアリテラシー教育の環境整備も行ってきております。

私からは、以上です。

## ○宮川市長

それではただ今、事務局から説明ありましたが、成人式開催の可否、対象年齢、開催時期など、教育の部分等も含めて、ご意見がございましたらお伺いしたいと思います。

## ○小林委員

私は、成人式は、今から50年以上前にやったのを今でも記憶しております。そういう行事をしていただいて、自覚するというのは、私はありました。だから、変える必要はないのではないかと思うのですが。決まったことですが、いろいろ問題があるかと思えます。やはり、それはそれとして、私みたいな年寄りに関係なく、若い方たちが作り上げていくべきだと思います。ちょっと余談になりますが、成人式に市長が、挨拶で話してくれるでしょう。あの中身は、すごく大事だと思います。毎回聞いていますが、これからの社会は、君たち若い人たちが作り上げていくようなことを話されていますので、もうちょっと厳しい言い方でも、いいような気がしております。

## ○上林委員

私も、おかげで十数年、教育委員を務めていまして、何度も成人式も出席させていただき、個人的感想として申し上げますが、成人式というセレモニー自体は、若者にとっては、ちょっと期間が離れて、旧友と会ういい機会になって、いいことだと思いますし、私ども出席しているときにいつも思いますが、今年も211人の対象者がおりましたが、せめて、このうちの半分ぐらいが紋別に残ってくれたらいいのにといつも思っています。道都大学がなくなって、この子たちが地方の大学に行って、帰ってくるチャンスというか、こういった機会を与えていいのではないかなと思います。帰省して、こういう仕事がありますよとかですね。そういう、もっとこちらからアピールするような機会があってもいいのではないのでしょうか。正直、もう向こうも大人なので、助けてくれよっていうような感じで。そういう機会であっていいのかなと思っています。だから、もっともっと、せっかく集まってくれているのだから、何かそういうような、方向を一つ、これから考えていってもいいのではと思っていました。

## ○渡邊委員

当初、アンケートを採ったときには、自分も20歳になってからの方がいいと思いましたが、今回、このテーマを聞いたときに、ちょっと調べたのですよね。そうしたら、他の諸外国、オーストラリア、中国、アメリカは、18歳で成人式やっていて、アメリカの場合は州によって違うらしいです。20歳は意外と中途半端な気がしました。というのは、18歳は高校卒業して、ちょっと節目ですよ。あとは開催時期を、例えば、4月とか5月にずらして開催すれば、卒業してからになり、タイミング的にはいいと思えますし、やはり、その20歳という年代が、実は学校卒業など、そういったときだと、ちょっと中途半端な気がするの

ですね。やはり、選挙権が18歳になるわけですから、この18歳で、あなたは大人ですよという認識にもなると思います。私も、成人式出たときはやはり、一つそのステップが上がって、大人になったというか、社会人になったという意識になりました。それまでは、市長や町長に接する機会とほとんどないと思うのですね。そこでお話をいただいて自分も社会人になったのだと。責任を負わなければならないというのを、改めて認識できる場面もあると思うのですよ。なので、私としては、最初は20歳だと思っていたのですが、少し、いろいろなことを調べていくと、自分の経験も踏まえて、18歳に下げてもいいのではないかと考え出しました。やはり、節目というか、ちょうど学校も変わりますし、高校も卒業しますし、選挙権も18歳となったことで、ただ18歳でやるのも、一つの節目、社会人として歩み出す、学生もおりますが、社会人というポジションでいくと、そのときに、成人式をやってもいいのではないかと考えるようになりました。ですから従来どおり、周りの市町村に合わせるのも大事ですが、18歳の節目のところ、社会人として認識してもらう部分で、18歳でもいいのかなと考えました。

### ○古屋委員

私的には、18歳は、大体高校生までは自宅から通っている子が結構多くて、それから、大学なり就職なりして結構、地元離れる子が多いので、やはり、少し地元を離れてみて、20歳ぐらいになってから地元を振り返る面でも、ちょっと振り返るいい機会になると思いますし、高校生のときに式典をやるというのは、少し社会に出てから、学生でも何でも、社会に出てから経験、そういう式典があると、やっと自覚するのではと思います。

### ○宮川市長

アンケートは、どうでしょうか。高校生などを対象にしていますので。その高校生や20歳の人たちがどう考えているのかというのが、重要だと思っております。

### ○渡邊委員

高校生も卒業してからならいいと思います。在学中に成人式は、どうかと思うのですが、卒業式が終わってから、高校生という身分を終えてならいいと思います。だから、19歳も対象になってしまうのですが。その方が節目として、いい気がしたのですよ。基本は20歳ですよ。やはり、基本は20歳ですけど、年齢を下げるにしても、そういう考えもあるかと思っております。

私、遠軽で成人式だったのですよ。当時、自衛隊員だったので、自衛隊の制服

で成人式に出席しました。ただ、自分としては、成人式は同窓会を兼ねていたの  
で、地元の成人式に出席するため、地元に戻りたかったのですが、帰れなかったっ  
ていうのがあります。ただ、社会人になってしまったら、やはり、地元に戻れな  
いっていう人も、往々にしているのではないかと思うのですよね。

### ○宮川市長

自分たちが考えているほど、その成人の自覚を持つための式典のような、そう  
いう意識はないですよ。仲間と会うという感じがします。

### ○渡邊委員

どちらかという、同窓会的なものを含んでいるのかなって感じがします。

### ○宮川市長

ただ本当に、還暦もそうですけど、何かのけじめのときにいいという感じで、  
それほど難しく考えていなく、強い自覚もないですよ。

### ○上林委員

応援のためになるのではないですか。女の子は着物を着て、写真を撮って、家  
に成人式の写真を置いておいて、親孝行みたいな。昨今、すごいですよ。第三者  
や保護者、警察官など、たくさん来ていて、昔はこんなに来ていなかったのでは  
ないかと。

### ○堀籠教育長

皆様から、いろいろ発言がありました。成人式は、社会参画の自覚を高めると  
いう意味と、現時点の目的と実際にやっていることが、かい離してきている時代  
になってしまっています。今回、成人式を総合教育会議の中で取り上げて頂いた  
のは、社会参画を意図しているところを、教育委員会や大人たちが話しているこ  
と。自分たちが社会を変えるという意識を、成人の日に持ってもらいたいという  
こと。そこを示すために、総合教育会議で話していることを報道していただいて、  
成人式を大切に思っていることを、市民の方にお知らせしたいと思っておりまし  
た。委員や市長の話聞いて、感じたのは社会参画の自覚を高めるという意味合  
いと、実際の成人式のイベント的な意味合いについて、私は分けた方がいいので  
はと思いました。先ほど、ご発言がありましたが、20歳になって地元に戻る機  
会は、これぐらいしかないということがあります。今、紋別市では関係人口の拡  
大という目標がありますが、関係人口がこれだけ集まる機会は成人の日しかない  
と思います。ですから成人を18歳にして、今のまま、20歳ではセレモニーを



するという形であれば、セレモニーの方は、教育的な意義というより、地域づくりや市民参画、そういったような意味を持たせて、先ほど上林委員からもご提案がありました就業、仕事をするための意識、紋別市の地域に移住するためのということも、もっと生かして入れるべきじゃないかと思います。紋別市に関係人口が、100人も、200人も来てくれるというイベントは、成人式しかない。そこで、いかに紋別市との関連をつなげていただけるのかということ意識して、やるべきではないかと思いました。社会参画の教育については、先ほど学校の話もあったのですが、成人式と離してしまう。高校生が、例えば、市や市教委のいろいろな会議に参加してもらおう。コミュニティ・スクールに、中学生を参加させるというような取組など、つまり、自分たちの周りを自分たちで変えるということが、市民社会ですので、何か成人式の話にとどまらず地域おこしなど、そういったことも考えながら、今後、いろいろな方の意見を決めて、方向性を考えていきたいと思います。そういったことを考えたら良いと思いました。

### ○宮川市長

自覚を持つという、今、教育の話もありましたけど、やはり自分たちのことたちで決められるという、生徒会活動などを経験させ、自分たちの規則も含めて、素地をきちんと作っていかないと。自分は選挙を受ける立場として、18歳の人たちが何を基準に判断するのかというのがすごく不安を感じております。ただ、大人というか、結構都合によって、子ども扱いしたり、大人、成人だと言ったり、そういう部分も多々あって、やはり、そうではないのではないかという気はします。しっかり子どもたちをどう育てるかというのは、どう経験させるかということなので、それをどれだけ、実学的にやらせるかという問題があり、そこは、指導要領があっても、実際には感じるものがない気がします。だから、18歳で選挙権があるのなら、選挙運動などをやるのもいいことだと思います。そうさせないと分からないと思います。そうさせないで、やりなさいと言っても矛盾をすごく感じます。

### ○渡邊委員

目の当たりにしないと多分わからないと思います。

### ○宮川市長

分かりませんよね。自分たちの少し前までは、学生運動が非常に盛んな時期で、大学生やそういった年齢の方々が、いろいろな形で政治を、良い、悪いは別として、そうした参画をしていった時代が確かにありました。それと今が、どう違うのかっていうのもありますよね。意外と18歳ってどうなのか。果たしてどうな

のというのはあります。

### ○竹本企画調整課長

先ほど、アンケート調査の中に紋別高校が入っていました。生徒が入っているのかが気になったので聞いたのですが、生徒の数は入っていない。大人たちの考えと、これから18歳なのか20歳を迎える子どもたちがどう考えているのかというところは、多分大きいと思います。例えば、18歳になり、まだ早いという子が多いのか、逆に、自分は早くそういうことに参加したいと思っている子が多いものなのか。やはり、実際の世代の意見がどうなっているのか、気になるところです。

### ○堀籠教育長

それは聞いてみるべきだと思います。

### ○竹本企画調整課長

それは、我々だけだと、難しいですよ。

### ○渡邊委員

まだ、授業だけの知識しかありませんが、そこでいきなり選挙権が与えられて選挙になったときに、多分、現実味はないのではないかと思います。だから、そこに行くまでに、いかに教育できるかだと思います。多分、今までの状態だと、こういう仕組みになっていると言われても、実際それがどう動いているかなんて社会に出ないと分からない訳ですから、現在の状況では、なかなか難しいです。

### ○竹本企画調整課長

先ほど話しが出ましたが、ヨーロッパや諸外国は、社会参画や教育の仕方が根本的に違うのではないのでしょうか。

### ○上林委員

中身が、日本と外国では完全に違うので。人を押しつけて、自分の意見を通すような若者が今いるかといったら、いないのではないのでしょうか。

### ○宮川市長

みんな、摩擦を避けたいと思っています。

### ○堀籠教育長

学校で教えるのに、過去の経験がそういうふうに踏み込むのを恐れさせていることはあるかもしれませんが、やはり実際やってみないと分かりません。

### ○宮川市長

学校の先生が政治を教えられるとは思いませんが。

### ○渡邊委員

選挙のときになると、街宣をしています、それを子どもが聞いてどう思っているのか。実際にそれを聞いて、選挙で議員を選んで、どのように自分に影響するのか考えている子はいないと思います。実は、すごく直結しておりますが、それが多分分からないし、それが分かると真剣になるとは思いますが、なかなか現状では難しいですね。

### ○宮川市長

やはり、そういう教育をしていくことによって、大人たちの投票率の低さを改善するのは、子どもたちかもしれません。

### ○上林委員

指導主事がいつも問題として取り上げているのは、自分の意見を人に伝える力ですが、必ず出てきます。先ほどのアンケートもそうですが、自分の考えを他人にどう伝えるのかという、これこそ教育だと思います。そこの底辺をしっかり支えないと、もう政治もないと思うのですよね。

### ○宮川市長

どこに期待をしていいのか。

### ○堀籠教育長

まだ、法律が変わるまで若干時間もありますので、こういったご意見を聞き、更に取り組も進めながら、成人の日の在り方、成人の日が持っている象徴的な社会参画する力をつけるために、教育をどうするのかを考えたいと思います。

### ○上林委員

成人式の主体が、教育委員会でなければならないのかというところがあります。

### ○堀籠教育長

歴史的には社会教育ですね。

**○宮川市長**

どうでしょうね。意識したことはありません。

**○上林委員**

産業部の方に出ていただくとか。

**○渡邊委員**

むしろ、そっち寄りの気がしますよね、社会人ですし。

**○宮川市長**

成人式の30分間にやるということが、何か意味あるのかといつも思いながら出ています。

**○堀籠教育長**

あの期間の前後に何か他の取組ができるのではないですか。

**○上林委員**

だから何か、教育委員会だけが主体になってやるのではなくて、他の課の方にも出てきていただき、何かいろいろ工夫が、市側としてもできるような要素はあるのではないかと考えております。

**○宮川市長**

やはり、その子たちがどれぐらい育っているのか。例えば、それを記念に市長と対話しても構わないし、そういう形でも全然構わないと思いますが、そこまで成熟しているのか、それを望むのか。私たちは、若い人たちの話を聞きたいから、話をしたいと思っても、どうなのかと思います。

**○堀籠教育長**

せっかく集まっていたので、是非、紋別のPR、関係人口の拡大にもなっていたきたいですね。

**○宮川市長**

対象となる人たちも主体性を持たないと駄目ですよ。今、紋別のことを話したとしても、何をやっているのかという話になります。紋別っ子だけど、こうした方がいいって話してくれる方がいいですね。だから、今の教育の中で、紋別の

ことをどれくらい教えているのかっていうのもあります。どれだけ紋別のことを知ってから外に出て行っているのかと思います。

#### ○堀籠教育長

是非、そういう地元の教育というテーマで、また、総合教育会議でお話しできればいいと思います。

#### ○宮川市長

ガリニコ号に乗らないで、市外に出て行っている子がいますね。

#### ○竹本企画調整課長

新しいガリニコ号は、定員も増え、たくさん乗れるようにもなりましたので、成人式を新しいガリニコ号で開催するのもいいですね。

#### ○堀籠教育長

紋別の誇るものをそこで言ってもらいたいですね。そういったことを経験して、みんな、札幌や首都圏の方にいるのでしょうか、是非、紋別の良いところを知っていただき、宣伝してもらいたい。

#### ○宮川市長

何か取り留めない話でありましたが、これでこの会議をまとめたいと思います。

#### ○堀籠教育長

ありがとうございます。頂いた意見を参考に、取組などを考えたいと思います。また、このテーマでお話しすることがあるかもしれませんので、どうぞよろしくお願いします。

#### ○宮川市長

それでは、以上をもちまして紋別市総合教育会議を終了いたします。どうもご苦勞様でした。

午後 3 時 4 1 分終了